

2018.8. 29 <計2枚>

報道機関 各位

立命館大学広報課

**国内最大規模の産学連携マッチングイベント「イノベーション・ジャパン 2018」
次世代産業を支える世界最先端の研究成果を多数出展**

立命館大学は、大学の技術シーズと産業界の技術ニーズを結びつける、国内最大規模の産学連携マッチングイベントである「イノベーション・ジャパン 2018～大学見本市&ビジネスマッチング～」(会期:8月30日～31日、会場:東京ビッグサイト)に出展し、世界最先端の研究成果を紹介いたします。本イベントは今年で15回目となり、JST(国立研究開発法人 科学技術振興機構)が選りすぐった大学等の研究成果400件が展示されます。

本学の大学等シーズ展示ブースでは、「ペンの軸部にマイクロ触覚センサーを実装し、指がペンに加えた力を記録する電子ペン」や「空気を抜くと硬くなり、空気を入れると元の柔らかい状態に戻るシート」をはじめとした世界最先端の研究成果をご紹介します。また組織展示ブースでは、立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)の研究拠点「次世代人工知能と記号学の国際融合研究拠点」の研究成果である、「移動ロボットが空間理解をするための場所概念形成」や「光レーザーマイクロホンを用いたピンスポット集音システム」についてデモンストレーションを交えてご紹介いたします。

記

会 期: 2018年8月30日(木)～31日(金) ※入場無料

会 場: 東京ビッグサイト(東京国際展示場)西展示棟・西1ホール

出展者と出展内容: 別紙

主 催: 国立研究開発法人科学技術振興機構、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

共 催: 文部科学省、経済産業省

公式サイト: <https://www.ij2018.jp/>

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学 BKC リサーチオフィス 担当:森 TEL:077-561-2802

立命館大学広報課 担当:池田 TEL:075-813-8300

<http://www.ritsumeai.ac.jp/>

別紙

■大学等シーズ展示

堤 治(生命科学部・教授)

円偏光反射・発光を示す「らせん状分子配向材料」

井本 桂右(情報理工学部・助教)

実環境における周囲状況の把握のための環境音分析技術

野間 春生(情報理工学部・教授)

マイクロ触覚センサによるサインの認識と応用

熊木 武志(理工学部・准教授)

LED 照明に新たな価値を提供する応用技術～照明から防犯へ～

満田 隆(情報理工学部・教授)

任意形状で繰り返し固定が可能な可変粘弾性シート

馬 書根(理工学部・教授)、加古川 篤(理工学部・助教)

物体との接触検知を必要としない引き込みグリッパー

王 忠奎(理工学部・助教)

優しい把持が可能な空気圧駆動ソフトグリッパーと自動システム

■大学組織展示

立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO) 研究拠点IV

「次世代人工知能と記号学の国際融合研究拠点」

プロジェクトリーダー: 谷口忠大(情報理工学部・教授)

■JST フェア

センター・オブ・イノベーションプログラム (COI)

「運動の生活カルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点」